

『その人の想いに寄り添う』～『小さなことに大きな愛を込める』～

2026 年 9 月 6 日、『ひばりヶ丘駅 → 池袋駅 → 大井町駅』から、【第 4 期 その人の想いに寄り添うキーパーソン講座】(きゅりあん 品川区立総合区民会館)に赴いた(添付)。担当者は『5 歳のハイジ(西田千鶴美)』氏 & 三国浩晃氏 & 秋月隼人氏で、修了書授与は代表の一柳弘子氏がなされた。

筆者は、講演『がん患者に寄り添うとは 言葉の処方箋』の機会が与えられた。【哲学者イマヌエル・カント(Immanuel Kant: 1724 -1804)の臨終の言葉『これでよい』。勝海舟(1823 - 1899)は『これでおしまい』。内村鑑三(1861-1930)の難病で亡くなった娘 ルツ子(1894 - 1912)は『もう行きます』。人間、最期はこの 3 つのどれか準備しておいた方がよいであろう。これが『クオリティー・オブ・デス(死の質)』である！まさに、『人生の目的は 品性の完成』であろう！】& 【厚生労働省によると、日本人の平均寿命は、2023 年の時点では、男性 81.09 歳、女性 87.14 歳である。2024 年は、男性が 81.09 歳、女性が 87.13 歳で、前年と比較して男性は横ばい、女性は 0.01 年下回りました。平均寿命の男女差は 6.04 年(前年 6.05 年)で、0.01 年縮小しました。注：平均寿命とは、0 歳の人の平均余命を言います。】を語った。

筆者は、総括も行った。『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義は、『喜んで無邪気に小さなことに大きな愛を込める』であると語った。集合写真撮影の後、懇親会の時を待った。早速、三国浩晃氏から、【樋野先生 キーパーソン講座ありがとうございました。今回、樋野先生に監修をいただき、とても格調高い講座になりました。樋野先生のお話を 2 回目、3 回目に聞かれた方が『樋野先生の言葉の処方箋が沁みわたりました』、『少し分かったように思います』と、講座終了後の疲れを感じさせない、少し興奮した様子で何名かが、私に声を掛けられたのです。地平線に向かって話されていることが、届いているのですね。ありがとうございました。】との心温まる励ましの連絡を頂いた。

筆者の講義、講演は『スルメ症候群：一度 聞いてもわからない 二度も 聞いてもわからない 三度 聞いて首傾げ 四度 聞いてうなずける あ～あ～ スルメ症候群 訳がわからんのがいいね！』と ニューモア溢れる言葉を頂く。今回は、大変有意義な充実した貴重な【第 4 期 その人の想いに寄り添うキーパーソン講座】となった。

第4期 その人の想いに寄り添うキーパーソン講座			
	4F 第1特別講習室		
9月5日(土)	1日目	登壇者	
10:00~10:15	受講者受付		
10:15~10:25	一柳ウェルビーイングライフ財団代表より挨拶	一柳弘子	
10:30~11:45	理念の理解と価値観の共有	三国浩晃	
11:45~12:45	昼食		
12:45~14:00	本人を知る・認知症の心理、行動、特性	別府明子	
14:00~14:15	小休憩		
14:15~15:45	ケース教材①	秋月隼人	
15:45~16:00	小休憩		
16:00~17:00	質疑・応答	三国浩晃	
	5F 第1講習室		
9月6日(日)	2日目	登壇者	寸評
10:15~10:30	受講者受付		
10:30~12:00	キーパーソンになる（事例報告）	西田千鶴美	樋野先生
12:00~12:45	昼食		
12:45~13:15	キーパーソンになる（振り返り）	三国浩晃	樋野先生
13:15~13:25	小休憩		
13:25~14:50	がん患者に寄り添うとは 言葉の処方箋	樋野興夫	
14:50~15:00	小休憩		
15:00~16:15	ケース教材②	秋月隼人	樋野先生
16:15~16:40	総括・修了書授与・集合写真撮影	樋野興夫	
17:00まで	片付け・鍵返却		
	懇親会（希望者のみ）駅近隣にて		